

ゼロ カーボンシティ を目指して

Carbon neutral
by 2050

SAKAIMINATO

カーボンニュートラルに向けた
境港市の取組

%

2023年 境港市

ゼロカーボンシティを

目指して ～カーボンニュートラルに向けた境港市の取組～

境港市は、三方が海に開け、自然から多くの恵みを受けて発展してきました。しかしながら、近年、地球温暖化によって海水温が上がり、水揚げされる魚の種類や漁獲量に大きな影響が出ています。また、日本国内だけでなく世界においても、異常気象による大きな災害が増えており、「気候危機」と呼ばれる深刻な状況となっています。

本市にとっても地球温暖化対策は、すぐに取り組まなければならない重要な問題です。

そこで市では、「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年（令和32年）に市内における「カーボンニュートラル」を目指し、様々な取り組みを始めています。

カーボンニュートラルとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から植林などによる二酸化炭素の吸収量を差し引いて、合計を実質ゼロとすることです。

カーボンニュートラルを達成するためには、再生可能エネルギーの活用や省エネなどにより温室効果ガスの排出量を減らしながら、植林などにより吸収する量を増やす必要があります。



再生可能エネルギー の活用

境港市の取り組み

Carbon neutral
by 2050

SAKAIMINATO

01 境港市渡太陽光発電所

境港市渡太陽光発電所では、これまで利用されていなかった市の未利用地を使い、太陽光による発電を行っています。発電した電力は、地域の電力会社に売電し、地域における再生可能エネルギーの普及促進と経済循環に役立っています。売電で得た収入は、家庭や事業所が導入する太陽光発電や蓄電池などの設備への補助金に活用されています。

最大発電出力	300 k W
太陽電池モジュール	単結晶シリコン545W×774枚
パワーコンディショナー	50 k W×6台
敷地面積	約5,000㎡
年間発電量	約500,038 kWh（一般家庭約100世帯分）
運転開始	2023年（令和5年）8月
令和4年度エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金補助事業	



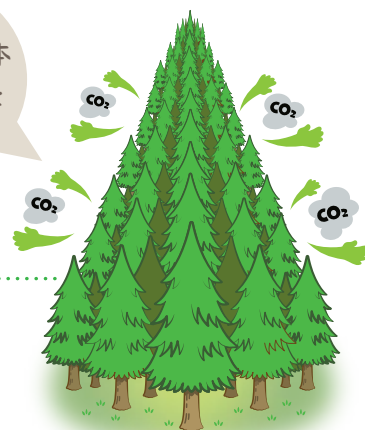
境港市渡太陽光発電所



境港市渡太陽光発電所による 二酸化炭素の削減量

年間で約250トンの二酸化炭素が削減されます。
これは、約1万8千本の杉の木を植えるのと同じ効果があります。

約1万8千本の
杉の木と
同じ！



再生可能エネルギーの活用

02 公共施設の屋根を活用した太陽光発電

◆ 境港市保健相談センター

境港市保健相談センター太陽光発電・蓄電システムでは、太陽光で発電した電力を当センターで使うことにより、二酸化炭素を削減します。また、蓄電池を地域新電力会社のシステムに接続しており、地域内で再生可能エネルギーを効率的に使うとともに、災害などで停電したときにも電気を使用することができます。

最大発電出力	4.4 kW
太陽電池モジュール	単結晶シリコン380W×12枚
パワーコンディショナー	4.4 kW×1台
蓄電池	9.8 kWh
設置場所	境港市保健相談センター2階テラス
年間発電量	約4,774 kWh
運転開始	2023年（令和5年）8月
令和4年度エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金補助事業	



蓄電池



テラスに設置した太陽光パネル

◆ その他の公共施設

そのほかにも小学校の校舎などに太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーを有効に利用しています。

施設名	最大発電出力 (kW)
渡小学校	27
外江小学校	27
中浜小学校	40
上道小学校	50
旧誠道小学校	60
余子小学校	80
境小学校	90
第二中学校	30
市民活動センター(旧市民図書館)	16

03 市役所における温室効果ガスの排出削減

市では、市役所や街路灯などで LED 照明を使っているほか、職員が省エネにつながる行動を行うなど、率先して温室効果ガスを削減する取り組みを行っています。計画では、本市の全ての事務や事業を行うことによって排出される二酸化炭素を2030年度に2013年度比で80%削減することを目標にしています。

04 家庭や事業所における太陽光発電設備などの導入支援

市では、家庭で太陽光発電設備など二酸化炭素を削減するための設備を設置する方に対して補助を行っています。また、令和4年度からは、事業所への太陽光発電設備の設置に対する補助も始めています。

補助対象設備	補助金額
太陽光発電設備（家庭用）	46,000円 / kW、上限 5 kW
太陽光発電設備（事業所用）	40,000円 / kW、上限 10kW
蓄電池	60,000円 / kWh、上限 40万円
太陽熱利用機器（太陽熱温水器）	補助率：1/10、上限 20,000円
燃料電池（エネファーム）	補助率：1/3、上限 120,000円

令和5年7月現在



05 環境教育の推進

令和3年度より小学校6年生を対象に環境教育事業を実施しています。子どもたちに地球温暖化や再生可能エネルギーを学習してもらうことにより、環境問題を「自分ごと」として考えてもらう機会を作っています。



環境教育事業の様子

再生可能エネルギーの活用

06 脱炭素先行地域づくり事業

「脱炭素先行地域」とは、市町村や地元企業・金融機関などが中心となって、地域の特性に応じて、二酸化炭素の排出削減に取り組む地域を国が選定するものです。

本市は、米子市、ローカルエナジー株式会社、株式会社山陰合同銀行と共同で第1回の募集に応募し、令和4年4月に「脱炭素先行地域」選定されました。

計画では、耕作放棄地や公共施設の屋根などに太陽光発電設備を整備し、境港市と米子市の公共施設等から排出される温室効果ガスを令和12年度（2030年度）までに実質ゼロとすることを目指しています。

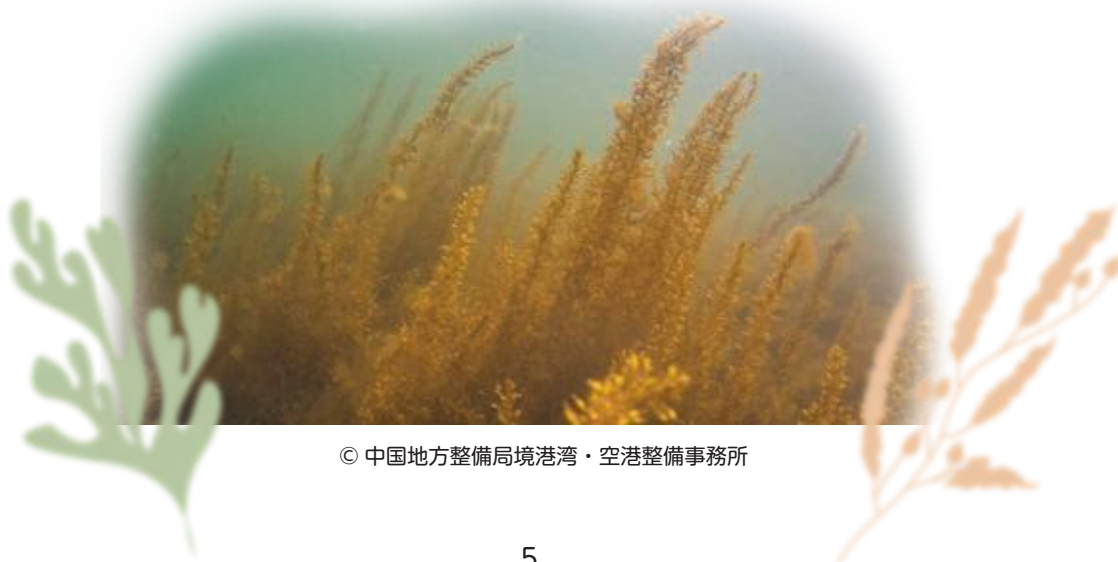


脱炭素先行地域

07 ブルーカーボン

植物は光合成によって二酸化炭素を吸収し、炭素を固定します。森林など陸上の植物が固定する炭素が「グリーンカーボン」と呼ばれるのに対し、海草（うみくさ）や海藻（うみも）などによって海中に取り込まれる炭素は「ブルーカーボン」とよばれ、二酸化炭素の吸収源として注目されています。

市では、地球温暖化対策や魚の生息環境の保全などを目的とし、中海や美保湾に海草や海藻などの藻場を形成するための調査研究を行っています。



© 中国地方整備局境港湾・空港整備事務所

地球温暖化を 止めるために家庭でも できること

境港市の取り組み

Carbon neutral
by 2050

SAKAIMINATO

地球温暖化を止めるためには、市民一人ひとりが地球温暖化の問題を「自分ごと」として、日頃から行動することが必要です。
家庭でも簡単にできることがありますので、みんなで取り組んでみましょう。



**家族団らんで過ごし
使わない部屋の照明や冷暖房は切りましょう**

不要な電気はすべて消すように心がけましょう。



**近所への移動は
徒歩や自転車を使いましょう**

運動することで健康にもつながります。

車の運転中はエコドライブを心掛けましょう

ふんわりアクセル、加減速の少ない運転、早めのアクセルオフ、アイドリングストップなどのエコドライブを行いましょう。



ごみを減らしましょう

ごみを処理することにより、二酸化炭素が排出されています。
分別の徹底などでごみを減らしましょう。



**冷蔵庫の中身をつめすぎないように
しましょう**

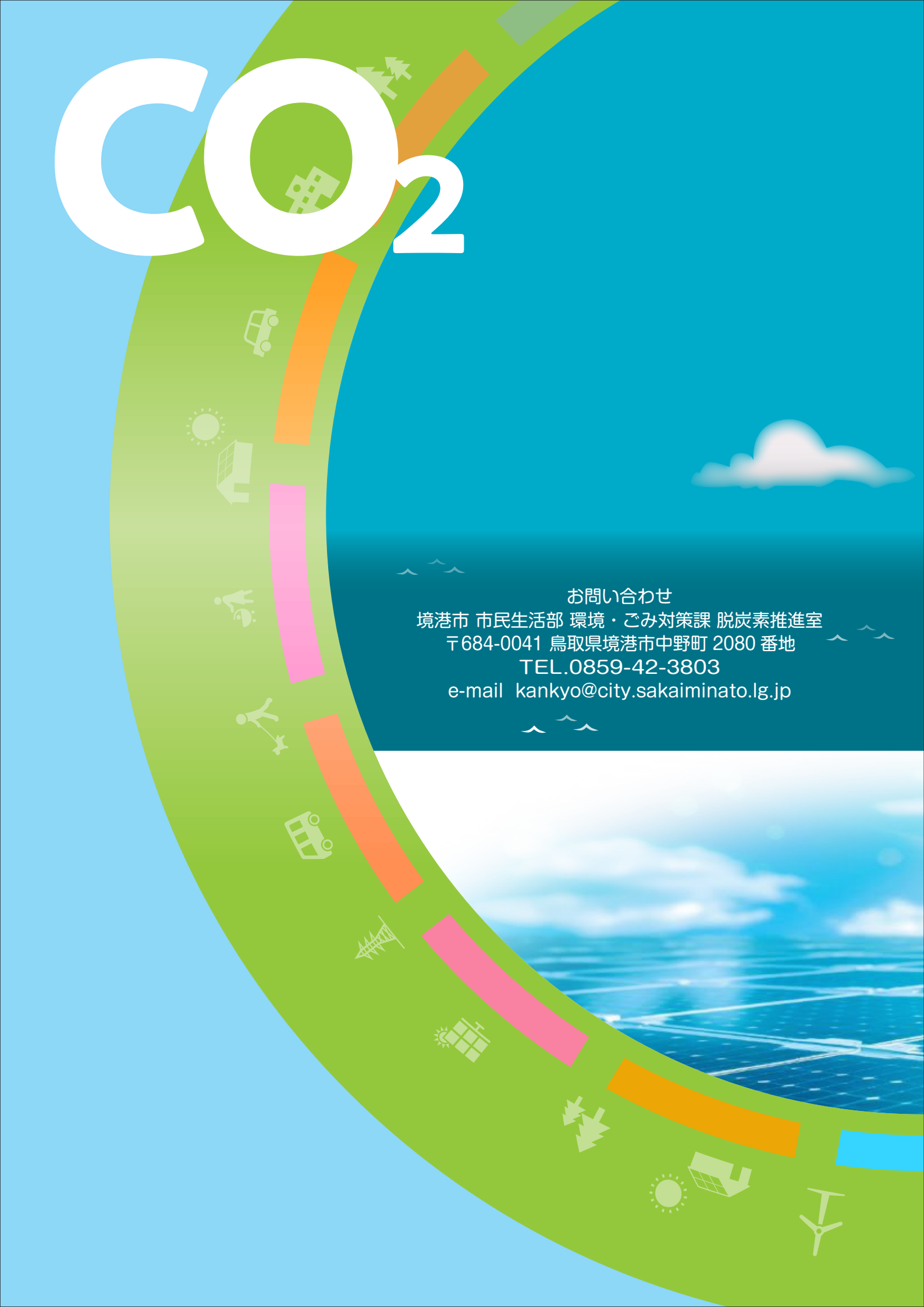
冷蔵庫に食材をつめすぎると冷気がうまくまわらず、消費電力が多くなります。



食品ロスをなくしましょう

日本では年間522万トンの食品ロスが発生しており、その半分は家庭からのものです。

CO₂



お問い合わせ

境港市 市民生活部 環境・ごみ対策課 脱炭素推進室

〒684-0041 鳥取県境港市中野町 2080 番地

TEL.0859-42-3803

e-mail kankyo@city.sakaiminato.lg.jp